

<極寒・強風の平昌に挑む> 選手を守る防風ネットを上げる

マックスプル
ニュース

長野五輪に続いて採用されたマックスプルウインチ！

2018年2月9日

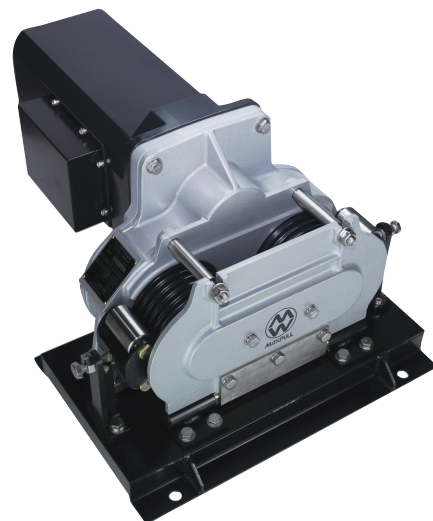
平昌冬季五輪のジャンプ台がある「アルペンシア・スキージャンプセンター」。
冬期は風速 8 ～ 10 メートルの風が吹き、突風になれば 15 ～ 16 メートルにもなる。

◆「10メートルの風を3メートルに」

その強風で選手が空中を飛ぶと、バランスを崩し、安全面にも不安が生じる。
国際スキー連盟（FIS）からは「風を70%削減、風速10メートルなら3メートル以下にせよ。」との厳しい要求が出た。その要求に果敢に挑戦したのが
建築家・赤羽吉人 × マックスプル工業 × ナカダ産業のタッグチームであった。

建築家・赤羽吉人 × マックスプル工業は、1998年に開催された長野オリンピックで会場となった「白馬のジャンプ台」にて日本で初めて防風ネットを導入した経験があった。風をはらんだ防風ネットには自然の強大な力が加わる。そのネットを安定して上昇・固定・下降を行う為選ばれたのが、

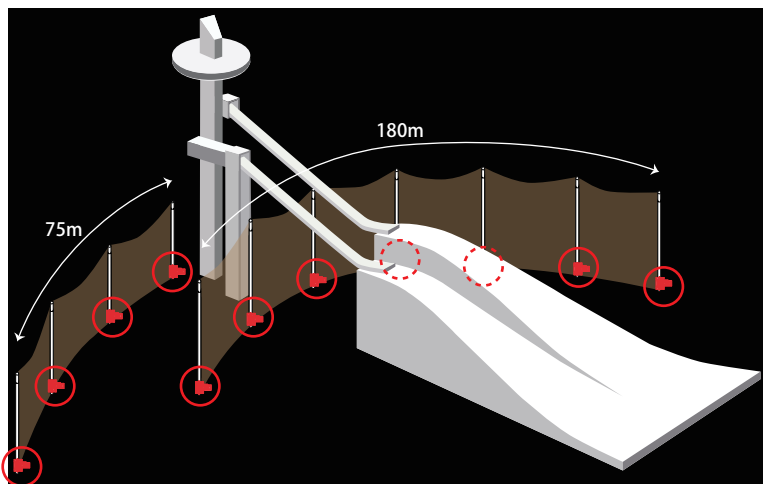
マックスプル電動往復牽引ウインチ EME-1300 型であった。それは世界にも類を見ない<ダブルドラム>、<AWD 駆動（オールホイールドライブ）>、<特殊ワイヤ溝加工>などマックスプル工業の技術と経験が詰まったウインチである。風速計と連動してネットが EME-1300 型のパワーで自動昇降し、風をブロックするという優れたシステムを実現させる為、20 台を平昌へ送った。



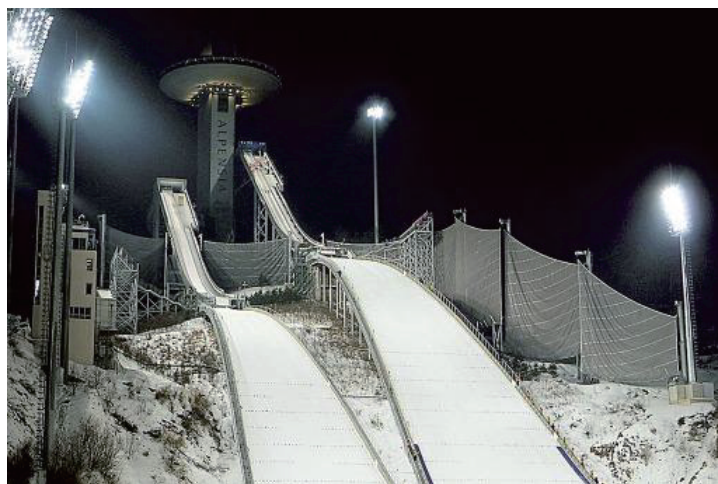
EME-1300型

◆長さ255メートル、高さ25メートル

「陸上ネット」の分野では日本一のシェアを誇るナカダ産業の施工で完成した防風ネットは選手から見て左側と後方に、ジャンプ台を囲うように設置された。長さは計約255メートル、高さは最大25メートルという巨大なもので、オリンピックテレビ中継では飛行する選手の背景にこの巨大ネットが何度も映り込んだ。



○ 電動ウインチ設置場所



▲平昌オリンピック スキージャンプ台



MAXPULL MACHINERY & ENGINEERING CO., LTD.

マックスプル工業株式会社

本社・工場
〒270-0107 千葉県流山市西深井中谷 1296-22 TEL 04(7186)6797 FAX 04(7186)6798

西日本営業所
〒556-0022 大阪府大阪市浪速区桜川 3-4-25 TEL 06(6567)2388 FAX 06(6567)3088



<http://www.maxpull.co.jp>